

災害部門一研究協議会

関東大震災の記録を振り返る／トルコ・シリア地震緊急調査報告

[資料あり]

9月13日（水）9:00～12:30 総合研究3号館 共通155室

司会 北山和宏（東京都立大学）

副司会 池田浩敬（常葉大学）

記録 松井智哉（豊橋技術科学大学）

1.主旨説明 塩原 等（東京大学）

2.主題解説1：関東大震災の記録を振り返る

①震災当時の調査資料を振り返る

壁谷澤寿一（東京都立大学）

②関東平野周辺の被害状況

川辺秀憲（大阪大学）

③写真や資料で振り返る避難生活や仮住まい

佐藤慶一（専修大学）

④写真で振り返る東京の被害状況

田尻清太郎（東京大学）

⑤映像から見える建物被害の特徴

日比野陽（名古屋大学）

3.主題解説2：トルコ・シリア地震緊急調査報告

①調査概要

楠 浩一（東京大学）

②建物の被害概要

日比野陽（名古屋大学）

③建物の詳細調査

田尻清太郎（東京大学）

④工場施設（S造・PC造）・病院建物の被害と対応

倉田真宏（京都大学）

4.討論

5.まとめ 壁谷澤寿一（東京都立大学）

本年は1923年の関東大震災から100年の節目の年にあたる。震災当時の記録は、新聞や

各機関による被害調査報告など、文字のみにとどまらず写真や映像などの幅広い媒体により数多く残されている。しかし、100年にわたる時を経て、関東大震災が歴史上の出来事となってくるにつれ、これらの記録資料に十分目を通したことがある世代も少なくなっているのではないだろうか。

そこで、関東大震災 100 周年を迎えたいま、当時の記録資料を様々な切り口から改めて振り返ってみることで、100 年前の大震災時の状況を少しでも身近なものとして追体験できる機会を提供したい。

これまで関東大震災の記録に触れてこなかった方はもちろん、多くの参加者にとって、今後の防災について改めて考え直す契機になれば幸いである。

後半では、本年 2 月 6 日にトルコ南部で発生したトルコ・シリア地震の緊急調査報告を行う。本会は土木学会、地盤工学会、文部科学省との合同調査チーム（団長：楠浩一（東京大学地震研究所））を結成し、3 月末～4 月上旬に現地に派遣した。ここでは本調査チームによる調査結果について報告を行い、被害等に関する議論を行う。